

最終更新日	2011年(平成23年)6月10日
-------	-------------------

校番 62	福山市立 大谷台小 学校
-------	--------------

1 学校教育目標

人間性豊かに生き抜く児童の育成

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命(ミッション)

知・徳・体のバランスのとれた教育を推進し、智(やる気)、健(げん気)、愛(やさしい心根)をもった子どもを育てる。

(2) 使命の追求を通じて実現しようとする自校の将来像(ビジョン)

学校力、教師力を向上させ、それを通して子どもたちの人間力を育てる。
 学校力(教師の指導力、すぐれた教育計画、効率的な学校運営)
 教師力(確かな授業力、組織的な職務遂行能力)
 人間力(知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」)

3 自校の現状分析

- 確かな学力
 「数学的な思考力の向上」については、目標の指標数値を少し下回った。また、年度末の学力調査(CRT)の結果においても、依然として思考力に課題が見られた。今後は、教える場と考えさせる場をはっきりさせ、指導の工夫・改善と定着をはかっていく。また、相手に伝えようとする姿勢は見られるが、その表現には自信がなく、達成感をもつことができていない。本年度は、外国語活動における教材の選択と展開、評価の工夫等を通して表現力の育成に取り組んでいく。
- 豊かな心
 「日本一宣言」に係る読書の充実を図ることについては、昨年度、一人年間70冊以上は、100%に近づくことができた。しかし、課題図書への取組みや読書の習慣化は十分でなく、特に家庭での読書の姿は少ない。読書を通して感動が与えられるよう読書活動の内容・充実の工夫に努めていく。
 挨拶については、自己評価と他者評価の差が見られることや3つの項目の中でも「笑顔で」挨拶することが目標値を下回っている。本年度は3項目とも目標達成できるよう取組みを進めていく。
- 健やかな体
 食に関心をもち、楽しく給食を食べることはできている。しかし、給食を食べ残す児童は少なくない。そこで、児童に見える目標を設定し、食育に関する取組みをさらに充実させていく。
- 力量ある教職員
 ノート指導を継続させることにより、ノートに自分の考えを書くことができる児童の割合は増加し、授業が楽しいと答える児童も多くなった。しかし、書くことだけに終わり、授業力が十分向上しているとはいえない。今後も授業改善に向けた具体的な取組みを進め、専門家としての確かな力量を高めていく。
- 市民から信頼される学校
 服務規律の確保については、不祥事防止委員会の計画に則り、研修方法等を工夫し、実効性のある研修を実施し、その役割を果たしていく。また、保護者や地域等に学校の情報をわかりやすく発信していく。

4 研究主題

(1) 研究主題

生き生きと、楽しく表現できる子どもの育成
 ~ 外国語活動を通して ~

(2) 研究指定

指 定	事 業 名 等	期 間
市	福山市教育研究支援事業(外国語活動)	3年間

5 今年度の重点目標と設定理由

重点目標	設定理由
自信をもって表現することができる外国語活動の授業展開と工夫	コミュニケーションの基本は自分の考え、思いや願いを相手に伝え合うことである。そのために、外国語活動において、教材の選択や展開の工夫を図った授業づくりを行えば、生き生きと楽しく表現する子どもが育成できると考える。

6 評価基準

評価・指標評価	基 準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

・ 自己評価(中間)の基準は、10月20日までの計画に対する達成状況とする。

7 目標・評価項目・指標等の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(中間) 評価	評価項目・指標等 (成果 取組み 成果と取組み に着目)	(中間) 指標 評価	評価項目・指標等 改善方策	短期(中期)経営目標 の達成状況
確 かな 学 力	2	学習意欲の向上 と基礎学力の定 着をはかる		継続	数学的な思考力の向上を図 る		数学的な考え方に関わる問題を週1回モー ニングタイムでとりあげる。			
							毎月の一斉テスト(数学的な考え方)の通過 率を80%以上にし,学年末実施の学力調査(数 学的な考え方)では通過率を5ポイントアップ させる。			
	1	生き生きと楽し く表現できる児 童を育成する		新規	外国語活動を中心に楽しく 自信を持って表現する力を 育てる		単元内容と関連させたコミュニケーションタ イムを年間33回実施する。			
							児童の自己評価やアンケートで5項目中8 0%以上の肯定的評価を2項目以上にする。			
豊 かな 心	1	やさしい心根を 育成する		継続	読書活動を通して感じ,考 える児童を育てる。		学期に1回全児童が,お薦めの本の紹介や感 想を書き,交流,掲示する。			
							学期末に児童・保護者にアンケートを実施・ 分析し,「読書の習慣化」のアンケート項目の肯 定的評価を70%以上にする。			
	2	規律3要素の徹 底をはかる		継続	「相手の目を見て」「大きな 声で」「笑顔で」挨拶ができ る児童を育てる		毎月,挨拶強化週間を設定し,生活がんばり カードの記入と振り返りの記入率100%にす る。			
							学期末に児童・保護者・地域にアンケートを 実施し,3つの全項目の肯定的評価を70%以 上にする。			
健 や かな 体	2	健康・体力づくりを 推進し,たくましく 生きる児童を育成 する		継続	食べ物に関心を持って残さ ず給食を食べることができ る児童を育てる		月1回は,担任が給食を中心とする食を取り上 げた指導を行う。			
							給食の残菜0の日50%以上にする。			

(管理規則第3条実施要領 別紙様式)

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	(中間) 評価	評価項目・指標等 (成果 取組み 成果と取組み に着目)	(中間) 指標 評価	評価項目・指標等 改善方策	短期(中期)経営目標 の達成状況
力量 ある 教職 員	2	専門家としての 確かな力量を高 める		継続	「わかる」「できる」「楽し い」授業の工夫と改善を図 る		ノート指導マニュアルにそった1単位時間の 流れがわかるノートの割合を80%以上にす る。			
							学期末に児童・保護者にアンケートを実施・ 分析し、改善のてだてを考えて、次学期の指導に 活かす。授業が「わかる」「できる」「楽しい」 のアンケート項目の肯定的評価を85%以上に する。			
市民 から 信頼 され る 学 校	3	教育公務員 としての自覚と 使命感を高め る		継続	教職員の規範意識を 高める		演習やロールプレイを学期に1回以上取り入 れ、計画に基づいた研修を行う。			
							研修後に職員アンケートを実施、効果に係る 肯定的評価を80%以上にする。			
	2	地域・保護者と双 方向連携をはか る		継続	計画的な情報発信と地域教 育力の活用により、地域・ 保護者の協力を得る		平素の活動や内容が分かるように工夫を行 い、学校だよりは年間30回以上、学級だより は年間20回以上発行する。また、懇談に興味 が持てる内容を工夫し、事前に通信で知らせる。			
							授業参観85%・懇談会60%の参加率にす る。アンケートの情報発信項目の肯定的評価を 85%以上にする。			